

代表取締役 [廿樂正昭] 経歴書

昭和 44 年ー 45 年

東京電機大学電子工学科卒業

- ・東京放送 (TBS) を経て、東京エレクトロン (株) に入社。
- ・米国フェアチャイルド (F.C.I.) 社 半導体試験装置 MODEL-4000M と、富士通 FACOM コンピューターコントロール テストシステム開発。
電電公社武蔵野通信研究所に納入し、国内半導体集積回路の標準規格化に貢献する。
- ・F.C.I. 社 MODEL-5000D 半導体試験装置と、日立 HIDIC-100 コンピューターコントロール テストシステム開発。日立中央研究所、及び日立武蔵工場に納入、半導体集積回路の開発に使用され評価を得る。

昭和 46 年

- ・HIGH-PRODUCTION MOS LSI テストシステムの開発、日立製作所武蔵工場に納入、MOS LSI の評価及び試験用として活躍。
- ・世界初の電子顕微鏡による LSI 試験装置の開発、日立製作所武蔵工場に納入し、ビジュアル試験装置として高い評価を得る。
- ・米国フェアチャイルド社にて、高速記憶回路 (I・C メモリー) 試験装置の開発及び、同システム パターン ジェネレーター回路の開発に従事。

昭和 47 年ー 48 年

- ・前記、高速記憶回路試験装置 "RANGER-1" を完成。
RANGER-1 と VLSI TEST SYSTEM SENTRY とのドッキングを完了し、カリフォルニア州 F.C.I. 社に納入。同システムは同州のジントル社にも納入されて、メモリーテストシステムとして評価された。
また、日本では電電公社武蔵野通信研究所にも納入された。
- ・前記、"RANGER-1" の各種試験方法の開発 (ソフトウェア)。
同試験方法は、IBM を始め各コンピューターメーカーに指導し、日本では、東芝、日電、日立、富士通、沖電気、その他、各半導体メーカーにおいて高い評価を得る。
"SENTRY" TEST SYSTEM 用 LSI ウェファーフローバー装置の開発。日本最大の試験装置として、東芝中央研究所に納入、LSI の開発に貢献する。
同システムは、沖電気、日本電気、その他にも導入された。

昭和 49 年

- ・"RANGER-1A MEMORY BOARD TEST SYSTEM" の開発。東芝府中工場、キヤノン取手工場、日立製作所おおみか工場に納入、コンピューター記憶回路の評価及び試験用として使用される。

昭和 50 年

- ・新日本製鉄向け、バンドアーク熔接用ロボットの開発、日本鋼管 津工場に納入、大型特殊タンカーの熔接に使用される。

昭和 52 年

- ・日本歯科医師会とタイアップし、歯科開業医用コンビーター"LEONAC 8000"の開発、全国販売を始める。
- ・炭酸ガスレーザーメスの商品化、開始。

昭和 53 年

- ・日本歯科医師会 東海地区学会にて、歯科医療システムコンピューター LEONAC 8000 を発表。
LEONAC 8000 シリーズの最上位機種で、開業医から病院システムまで使用出来る"LEONAC 8500"の開発。

昭和 54 年

- ・第 38 回 日本歯科材料機器学会にて、"歯科医療システムのコンビーター化に関する研究 第 1 報 LEONAC 8000 について"発表。
- ・第 98 回 京都大学口腔外科学会にて、"コンピューターによる歯科医療管理の研究(LEONAC 8500 を中心として)"発表。
- ・第 39 回 日本歯科材料機器学会にて、"歯科医療システムのコンピューター化に関する研究 第 2 報 LEONAC 8500 について"発表。
- ・第 32 回 岐阜大学病院会にて、"医療システムのコンピューター化に関する研究 (LEONAC 8500 を中心として)" 発表。
- ・東京医科大学口腔外科内田安信教授にて、炭酸ガスレーザーメス治験開始。
- ・東京医科大学 生理学教室にて、YAG レーザーメス実験開始。

昭和 55 年 - 56 年

- ・LEONAC 8300 LOW COST TYPE コンビーターシステムの開発。
- ・国立千葉大学手術室 樋口部長にて、炭酸ガスレーザーメス治験開始。
- ・日本口腔外科学会にて、口腔外科領域における炭酸ガスレーザーメスの臨床応用発表。

昭和 57 年

- ・東邦大学医学部 幡井勉教授にて、美容、針治療用 He-Ne レーザー装置、治験開始。
- ・医療用 極低温冷気発生装置の商品化。

昭和 58 年

- ・医療、美容用半導体レーザー装置、開発開始。
- ・医療、美容用極低温冷気発生装置"MODEL CRYO-101"の商品化。

昭和 59 年

- ・針灸用 半導体レーザー針装置、治験開始。

昭和 60 年

- ・医療、美容用 極低温冷気発生装置"MODEL CRYO-102"の商品化。
- ・リハビリ用 経皮的電気刺激装置の開発。
- ・口腔外科、耳鼻科用 半導体レーザー治療装置、治験開始。

- ・美容用 半導体レーザー装置の商品化。

昭和 61 年

- ・日本通運病院、北里病院、東電病院、東京医科歯科大学、東京医科大学にて、半導体レーザー治療装置 治験開始。
- ・冷凍美容・クライオサロン(エステティックサロン) FC店舗、全国展開。
- ・シュウウエムラ、エステティクスクール、美容電気学、講師。

昭和 62 年

- ・フレグランス ジャーナル NO.83 (Vol.15 No.2)に "レーザー美容機の開発と課題 " 発表。

昭和 63 年

- ・直営、クライオサロン(新宿店)の開設。
(兼アンテナショップ、ショールーム)

平成 1 年

- ・クライオサロン(池袋店)の開設。
- ・日本エステティック協会にて冷凍美容セミナー開催。
- ・カネボウ美容学校総会にて冷凍美容セミナー開催。

平成 3 年

- ・光治療器(フォトニック)の開発、東京電機大学電子工学科、町研究室にて治験開始。
- ・ツムラ化粧品と業務提携、サロン展開。

平成 6 年

- ・フォトニック(光線美容機)量産化、及び同レプリカセット販売開始。

平成 7 年

- ・シュウウエムラ化粧品と手袋式美容機(モイスチャーリフト)の共同開発、及び治験開始。
- ・山野愛子美容学校、ヤマノクレスティアーアカデミー美容電気学、講師。

平成 12 年

- ・美容電気脱毛協会、レーザー脱毛研究会講師として参加。
- ・美容電気脱毛協会共同プロジェクト、半導体レーザー脱毛機(エルビー)開発及び治験開始。

平成 13 年

- ・美容用エルビー脱毛機(業務用)量産化、販売開始。